

阿部 誠 平政・公明党

### 7月14日からの大雨災害

【問】能代市では、24時間に180ミリメートルという観測史上最大の降水量を記録し、悪土川流域の広範にわたり住家への浸水被害が多数発生した。今後の防災を考え、悪土川の抜本的な対策が必要ではないか。

【答】8月9日、県に対し、国、県、市で悪土川の水害対策の検討を行うための協議会設置及び河川改修事業の推進等による流域治水の抜本的対策を行うよう要望を行った。9月4日開催の米代川圏流域治水協議会においても、3者が連携した対策の実施を再度関係機関に対し、申入れをした。今後も機会を捉え抜本的な対策実施を要望していく。

### DXの推進について

【問】北海道北見市では、「書かない窓口」と呼ばれる、全国トップレベルの窓口業務改革が行われており、市民の利便性向上と職員の業務の効率化が図られている。その仕組みを取り入れる考えは。

【答】北見市の取組のうち、その多くの要素は本市でも既に実践しているが、今後予定されているシステム標準化、共通化の影響を考慮しながら、市民と職員双方がさらにメリットを実感できる窓口の在り方を研究したい。「書かない窓口」の仕組みは、本市のDX推進計画に合致するものと考えており、窓口の現状や課題を検証しながら検討していく。

#### その他の質問事項

- 被災者に対する支援
- 農家支援及び農地被害等への対応
- 災害復旧への対応状況

鍋谷 暁 希望

### 防災チャットボットの導入

【問】LINE等のアプリを活用し、市役所職員、地域役員、消防団等から収集した災害情報をリアルタイムに共有することができるとされる防災チャットボットを導入する考えは。

【答】防災チャットボットは、災害情報の共有や発信をする上で有効な手段の一つと考えている。現在、災害情報の伝達は、防災行政無線のほか、防災メール、ホームページ、SNS等により行っているが、災害情報の発信手段として新たな媒体が活用され始めており、これらの効果や費用等を見極めた上で、情報提供体制の強化を図っていきたくと考えている。

### チャットGPT等の生成AI

【問】チャットGPT等の生成AIは、文章作成やエクセル関数の作成等に有効なツールであり、市役所業務の効率化に寄与すると考える。個人情報への入力が行わない等の職員向けガイドラインやルールを策定する考えは。

【答】生成AIをアイデア出しや文章の作成、要約等に活用することで業務の効率化が図られると判断し、9月1日付で利用申請の方法や注意事項等をまとめた、生成AI運用手順を定めている。特に利用が見込まれるチャットGPTについては、注意点や問題点、活用事例等を記載した利用の手引を作成し、職員に周知している。

#### その他の質問事項

- 小・中学校における熱中症対策
- 土のうステーションの運用
- 宇宙食によるシティアプローチモーション

小野 立 市民ネットワーク  
(市民の声、大河の会、能代民政会)

### 農地の復旧は基本的に市の事業で行うべきでは

【問】山谷、大柄、種梅等、水害で甚大な被害が出た農地の復旧を農家自身の手で委ねては営農放棄が相次ぐ。激甚災害指定の恩恵を最大化するため、復旧は市の事業とすることを基本とすべきではないか。

【答】農家負担をできるだけ少なくするため、国の災害復旧事業の要件に合致する箇所のうち、土地改良区の区域以外は市が事業主体となって復旧工事を行うことを基本とした。農家には工事費用のうち、国の補助等を除いた額の10分の1を負担していただく。国の災害復旧事業の対象とならない箇所は県や市の事業により復旧工事を行っていただきたい。

### 交付金の申請漏れ、市長自身の責任は

【問】白神山地の観光振興のための交付金約1700万円の申請漏れでは山本郡3町に対してのみならず、市民にも迷惑をかけ行政への信頼を損ねた。給与の返上等、市長も自身に処分を課すべきではないか。

【答】市政を預かる者としては責任を感じているが、行政組織においては、それぞれの職務に管理監督者があり、職員による不適切な事務処理が発生した場合は、原因や影響を調査し、具体的な管理監督責任のある者が、その責任を果たしていなかったと認められる場合に処分の対象となる。本事業では、市長の処分には当たらないものと考えている。

#### その他の質問事項

- 四小の避難所開設時期、誤りでなかったか
- 悪土川ポンプ増強、市も国に要望すべきでは
- 農作物の干ばつ被害の現状認識と対策